

事務事業マネジメントシート（21年度実績と22年度計画）

22年度予算確定後 平成 22 年 3 月 26 日 作成
21年度決算把握後 平成 22 年 5 月 21 日 作成

事務事業名		公害防止対策事業				☐ マニフェスト関連 ☐ 全庁横断課題関連 ☐ 集中改革プラン関連								
総合計画体系	政策	1	人々が安全に安心して暮らせるまちづくり			所属部	市民部	課長名	上山 幸顕					
	施策	6	計画的な土地利用の推進			所属課	環境衛生課	担当者名	石原 勝史					
	基本事業	16	快適な住環境の整備			所属班	環境衛生班	(内線)	1143					
予算科目	会計	1	款	4	項	1	目	7	事業連番	10119	法令根拠	水質汚濁防止法、悪臭防止法、騒音規制法、振動規制法、熊本県地下水保全条例	成果優先度評価結果	12
												コスト削減優先度評価結果	6	
終了、開始年度	☐ 21年度で終了 ☐ 22年度から開始		事業期間		☐ 単年度のみ ☒ 単年度繰返(開始年度		S60 年度) 期間限定複数年度 (~ 年度)							

★事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)

【事業の内容】	昭和60年、事業所自体でも検査を行い報告されるが、市民(酪農家)からの要望があり、その不安を取り除くため市も独自に検査することとなった。 大気・水質・騒音・振動・悪臭などの公害防止対策として各種検査を実施し、快適な住環境づくりに努める。
(開始した背景・きっかけ・今後の状況変化を含む)	
【業務の流れ】	業者選定、見積り徴収、委託契約、採水補助、支払い事務
【主な予算費目】	委託料
【意見や要望】	なし
関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか？	

1 現状把握の部(DO、PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標	
① 手段(主な活動) 21年度実績(21年度に行った主な活動)(DO)	22年度計画(次年度に計画している主な活動)(PLAN)
公害検査(大気・水質・土壌・農薬・牛乳・地下水) 定期検査:水質検査(年2回)、大気汚染検査(年2回)、土壌検査(年1回)、残留農薬検査(年1回)、牛乳検査(年1回)、地下水検査(年1回) 臨時検査:レジオネラ属菌採水調査3回、水質検査3回(堀川・蓬原工業団地、元気の森公園、蛇ノ尾公園)	21年度に同じ
④活動指標(事務事業の活動量を表す指標)=①の指標	(単位)
⇒ ア 検査日数	日
イ 項目数	個
② 対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等	⑤対象指標(対象の大きさを表す指標)=②の指標 (単位)
規制対象事業場	⇒ ア 事業場数
	⇒ イ
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	⑥成果指標(意図の達成度を表す指標)=③の指標 (単位)
公共用水域の水質監視、事業場の排水の汚濁状況の監視を行う	⇒ ア 基準達成箇所数/測定地点数
	⇒ イ
*⑥成果指標設定の理由と平成22年度目標値設定の根拠 成果指標は各種検査を実施することで「基準達成箇所数/測定地点数」と設定し、公害のない快適な住環境の推進が重要であり、目標値は「100%」と設定した。	

(2) 各指標・総事業費 の推移			単位	19年度 実績(決算)	20年度 実績(決算)	21年度 目標(当初予算)	21年度 実績(決算)	22年度 目標(当初予算)	23年度 予定	24年度 見込	
④ 活動指標	ア	日		6	6	6	8	6	6	6	
	イ	個		7	7	7	8	7	7	7	
⑤ 対象指標	ア	件		30	30	30	30	30	30	30	
	イ										
⑥ 成果指標	ア	%		100	100	100	100	100	100	100	
	イ										
投入量	事業費	財源内訳	国庫支出金	千円							
			都道府県支出金	千円		120	70	71	41	40	40
			地方債	千円							
			その他	千円							
			繰入金	千円							
			一般財源	千円	753	337	641	295	664	660	660
	(A) 事業費計			千円	753	457	711	366	705	700	700
	(A)のうち指定経費			千円							
	(A)のうち時間外、特勤			千円							
	人件費	正規職員従事人数	人	2	4	4	6	6	6	6	6
		延べ業務時間	時間	308	458	460	462	460	460	460	460
		(B)人件費計	千円	1,223	1,832	1,831	1,839	1,831	1,831	1,831	1,831
トータルコスト(A)+(B)		千円	1,976	2,289	2,542	2,205	2,536	2,531	2,531		

総トータルコスト
全体計画
～ 年度

(期間限定複数年度のみ記載)

0
0
0

合志市

事務事業名	公害防止対策事業	所属部	市民部	所属課	環境衛生課
-------	----------	-----	-----	-----	-------

2 評価の部 (SEE)

*原則は21年度の事後評価、ただし複数年度事業は21年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①21年度目標達成度評価 事務事業の前年度実績は前年度目標値を達成したか、未達成の場合その原因は？	☒ 達成した	☐ 達成しなかった ⇒【理由】
	②22年度目標達成見込み 事務事業の本年度目標値に対して本年度の見込みはついているか？	☒ 目標達成見込みあり ⇒【理由】	☐ 目標達成は厳しい ⇒【理由と対策】
有効性評価	③成果の向上余地 次年度以降にこの事務事業の成果を向上させる余地はあるか？成果が頭打ちになってないか？	☐ 向上余地がある ⇒【理由】	☒ 向上余地がない ⇒【理由】
	④類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	☐ 他に手段がある (具体的な手段、事務事業) ☐ 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 ☐ 統廃合・連携ができない ⇒【理由】	☒ 他に手段がない ⇒【理由】
効率性評価	⑤事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？（仕様や工法の適正化、住民の協力など）	☐ 削減余地がある ⇒【理由】	☒ 削減余地がない ⇒【理由】
	⑥人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずに正職員以外の職員や委託できないか？（アウトソーシングなど）	☐ 削減余地がある ⇒【理由】	☒ 削減余地がない ⇒【理由】
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】	☒ 公平・公正である ⇒【理由】
役割分担評価	⑧行政の役割分担の適正化 事務事業のやり方や手段においてこれまでの行政、市が行ってきた範囲を住民や地域・団体に移行出来ないか？	☒ 見直し余地がある ⇒【理由】	☐ 役割分担は適正である ⇒【理由】

3 評価結果の総括(SEE) ※事務事業全体の振り返り、成果及び反省点等を記入

21年度は水質・公害等に各種検査を定期的を実施した。
今後も公害のない快適な住環境の推進に努める。

4 今後の方向性(事務事業担当課案)(PLAN)

(1) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可

☐廃止
☐休止
☐目的再設定
☐事業統廃合・連携
☐事業のやり方改善(有効性改善)
☒事業のやり方改善(効率性改善)
☐事業のやり方改善(公平性改善)
☐現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)

市民、事業者の環境に対する意識を高めるため、わかりやすい環境データの公表に努める。

(2) 改革・改善による期待成果
(廃止・休止の場合は記入不要)

コスト

削減

維持

増加

成果

向上

維持

低下

○

(3) 改革, 改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策

ホームページ、広報紙等に掲載したり、チラシ等を作成し周知する。

合志市

－2枚目－